

雲南圏域における次期可燃ごみ広域処理施設整備
基本構想策定業務委託公募型プロポーザル
審査講評

1. 業務委託名

雲南圏域における次期可燃ごみ広域処理施設整備基本構想策定業務委託

2. 公募型プロポーザル実施の目的・理由

当該業務委託に係る公募型プロポーザルは、雲南圏域（雲南市、飯南町、奥出雲町の3市町エリア）における次期可燃ごみ広域処理施設整備に係る基本構想策定に向けた、受託候補者等の選定を目的に実施されました。

全部で3者からの参加表明並びに提案（以下「提案者」という。）をいただき、組合が設置した「雲南圏域における次期可燃ごみ広域処理施設整備基本構想策定業務委託公募型プロポーザル選定委員会（以下「選定委員会」という。）によって公平・公正で慎重な審査の結果、次の「3. 審査結果」のとおりとなりました。

3. 審査結果

審査結果	提案者名	得点
受託候補者	株式会社東和テクノロジー山陰営業所 所長 打海智行	802.50
次点者	復建調査設計株式会社雲南営業所 所長 小豆澤 誠	653.30

* 審査の配点 100 点/委員×10 名。1,000 点満点。

4. 選定委員会の構成

委員名	所 属	
識見を有する者	伊藤勝久	島根大学生物資源科学部教授
雲南市、飯南町、奥出雲町（関係市町）の住民代表	加藤一郎	雲南市地域自主組織連絡協議会会長
	信藤一郎	飯南町自治区長連絡会会長
	安部 誠	奥出雲町鳥上地区福頼自治会会長
関係市町の副市町長	藤井 勤	雲南市副市長
	塚原隆昭	飯南町副町長
	藤原 努	奥出雲町副町長
関係市町の廃棄物担当者	金森里志	雲南市市民環境部市民生活課環境政策室長
	藤原清伸	飯南町住民課長
	堀谷智樹	奥出雲町町民課長

5. 選定の経緯

No.	項目	日程
1	雲南圏域における次期可燃ごみ広域処理施設整備基本構想策定業務委託公募型プロポーザル選定委員会（第1回選定委員会）	令和2年7月2日（木）
2	プロポーザル公告	7月6日（月）
3	実施要領等の配布期間	公告日から7月14日（火）まで
4	参加表明書等の受付期間（3者から参加表明）	同上
5	質問書受付期間	参加表明に係るもの 公告日から7月10日（金）まで
		上記以外のもの 公告日から7月14日（火）まで
6	参加資格確認	7月16日（木）
7	参加資格確認通知兼参加要請	7月17日（金）
8	質問書に対する回答	7月10日質問〆切のもの 7月13日（月）
		上記以外のもの 7月21日（火）
9	提案意思確認書と提案書の受付期限（3者から提案）	7月27日（月）から8月6日（木）まで
10	第2回選定委員会（二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）の実施）	8月26日（水）

6. 審査及び評価基準

参加表明が3者であったため、一次審査は実施されず、資格審査を経て3者すべてを対象に参加資格確認通知兼参加要請が行われました。結果、すべての参加表明者から提案意思確認書並びに提案書類が提出され、8月26日（水）雲南市役所会議室においてweb会議による選定委員会二次審査を実施したものです。

《二次審査》

(1) 審査項目、審査内容及び配点

審査項目は、表1「審査の基準」のとおりで、このうち「企画提案」に係る

審査項目について、選定委員会が評価を行いました。なお、「業務実績等」及び「参考見積書」の審査項目は、別途事務局において、参加表明者の提出書類に基づき評価されました。

(2) プレゼンテーション等の実施

ア Google社のGoogle Meetが、web会議の手段として用いられました。

イ 次に、提案者からのプレゼンテーションが30分、その後、15分間の質疑応答を経て選定委員会委員10名に、審査表を採点していただきました。

ウ 説明には、すべての提案者においてパワーポイントが使用されました。

表 1 審査の基準

審査項目		主な審査内容	配点
業務実績等	会社概要	・技術士数の多寡、支店・営業所等の所在地等。	5
	業務実績	・過去10年間の業務実績。(同種・類似業務の多寡。)	5
	管理技術者業務実績等	・業務に必要な資格の保有数、個人業務実績(経験)、個人手持ち業務の多寡。	5
企画提案	業務実施方針	・業務の目的及び業務内容がどれほど理解されているのか。 ・業務実施にあたっての基本的な考え方。	10
	業務実施体制・手法	・業務遂行のため、十分な人員配置や組織体制であるのか。 ・その手法は妥当なものであるのか。	10
	業務実施スケジュール	・業務実施スケジュールは、業務内容を十分理解した具体的かつ適切なものとなっているか。	8
	業務に関する提案	・実施要領「業務に関する提案」で掲げた各テーマについての認識度や理解度について。 ・各テーマの実施方法・手順に具体性があるか。 ・各テーマの提案内容については、実現性・実用性があるか。 ・提案に創造性や工夫が感じられるか。 *テーマは8項目あり、それぞれ審査を行う。	40
	プレゼンテーション	・業務に対する意欲が感じられるか。 ・説明は分かりやすいか。 ・専門知識・技術力の豊かさが感じられ、提案内容に説得力があるか。 ・質問に対する応答は的確、迅速、丁寧さがあるか。	8
	参考見積書	・提案者が提示した見積価格のうち、最低価格/提案者が提示した見積価格×9点	9
合計			100

*参考見積書を除くすべての項目において、AからEまでの5段階で評価し、採点は表の配点に次の率を乗じて算出しました。(小数点以下第三位四捨五入)

- A評価 配点×1.0 優れている
- B評価 配点×0.75 やや優れている
- C評価 配点×0.5 ふつう
- D評価 配点×0.25 やや劣る
- E評価 配点×0.0 劣る

7. 受託候補者等の特定

(1) 受託候補者等の特定方法

- ア 選定委員会における二次審査及び「業務実績等」「参考見積書」に基づき、最も評価点の高い提案者を受託候補者に特定しました。
- イ 二番目に高い評価点を獲得した提案者を、次点者に特定しました。
- ウ 審査表の配点が100点、選定委員会委員が10名ですので、1,000点が満点となります。
- エ 実施要領に規定の、企画提案部分の低得点者（企画提案部分の得点が50%未満）の該当がなかったことから、失格者はありませんでした。

8. 審査講評

本プロポーザル提案者は、いずれも創意工夫が重ねられた素晴らしい内容であり、敬意と感謝の念を表すものです。

その中でも受託候補者におかれましては、施設コンセプト検討の早い段階からの住民参加の提案をはじめ、理想（余熱発電）と現実（コスト大）が乖離しない現実的な整備方針、高精度の収集運搬モデルの検討などが具体的に述べられたほか、組合として関心の高い「国のプラスチック分別回収方針」に、提案者中唯一言いただき、これを踏まえたごみ性状調査の提案も高評価要因のひとつとなりました。また、施設整備に連動・並行して雲南圏域3市町すべての「一般廃棄物処理基本計画」の次期見直し時期を見据え、両者の整合性を取るとの提案も唯一のものでありました。

一方、循環型社会を推進する上で最も重要な、ごみの減量（3Rで最優先されるReduce（ごみの発生抑制））について、いずれの提案者からも言及がなかったのは残念であった、との意見も寄せられたところです。

いずれにせよ、雲南圏域の次期可燃ごみ処理施設整備をめぐっては、それぞれの自治体が抱えている既存施設の老朽度から、目標の令和14年度の供用開始を待たず、できるだけ前倒しのスケジュール感を持っての対応が必須とされており、

そのための歴史の第一歩となる基本構想づくりに最適な受託候補者を特定した形となりました。

なお、雲南市・飯南町事務組合が、本プロポーザル実施のために実施要領に定めたそれぞれの内容を確実に履行し、当事務組合と綿密な協議を重ねながら、質の高い基本構想を策定していただきますよう付言します。

最後に、本プロポーザルにご参加いただきました3者の皆様におかれましては、業務実績や企画提案書類等の作成、web会議前段の通信テスト、二次審査のプレゼンテーション、質疑応答などに対し、真摯にご対応いただき、心から感謝申し上げます。

令和2年9月14日

雲南圏域における次期可燃ごみ広域処理施設整備基本構想策定業務委託

公募型プロポーザル選定委員会委員長 伊藤 勝久

